

授業科目 臨床医学総論 II

【担当教員名】 追手 巍		対象学年	4	対象学科	臨床
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○			
【概要・一般目標：G10】 疾患の成り立ち、各種疾患の病態と各種臨床検査法との関連、特徴について基礎的知識を習得する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 理想的な臨床検査技師、臨床工学士になるためには、臨床検査業務、医療機器使用業務を実行するだけでなく、それらの意義を十分理解する必要がある。そのために上述の概要に記した修学が必須である。具体的には、 1. 各種疾患の診断、病態の把握のために必要な臨床検査法を具体的に挙げる。 2. 1での臨床検査法の原理と実際の施行法について理解し実践できる。					
回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	循環器系の検査	1, 2	講義、担当：追手 巍		
2	呼吸器系の検査	1, 2	講義、担当：追手 巍		
3	消化器系の検査	1	講義、担当：追手 巍		
4	肝・胆・膵系の検査	1	講義、担当：追手 巍		
5	血液・造血器系・出血性素因の検査	1, 2	講義、担当：追手 巍		
6	内分泌系の検査	1, 2	講義、担当：追手 巍		
7	腎・泌尿器系の検査	1, 2	講義、担当：追手 巍		
8	体液・電解質・酸-塩基平衡の検査	1	講義、担当：追手 巍		
9	脳・神経・筋肉系の検査	1	講義、担当：追手 巍		
10	アレルギー性疾患・免疫病・膠原病の検査	1, 2	講義、担当：追手 巍		
11	代謝・栄養異常の検査	1, 2	講義、担当：追手 巍		
12	感覚器疾患、重金属中毒の検査	1	講義、担当：追手 巍		
13	遺伝性疾患、悪性腫瘍の検査	1	講義、担当：追手 巍		
14	中毒、染色体・遺伝子異常症の概要	1	講義、担当：追手 巍		
15	皮膚および胸壁の疾患	1	講義、担当：追手 巍		
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)	臨床医学総論・臨床検査医学総論	奈良 信雄	医歯薬出版	2010・5,400円＋税	
参考書	からだの構造と機能	A. シェフラー、Sシュミット	西村書店	1998・4,800円＋税	
	健康と病気のしくみがわかる解剖生理学	K. J. W ウィルソン、A ワウフ	西村書店	2000・5,500円＋税	
	はじめての一步のイラスト生理学	照井直人	羊土社	2012・3,500円	
その他の資料					
【評価方法】 定期試験(100%)	【履修上の留意点】 教科書の重要項目、それ以外の教材をプリント、及び教科書への書き込みにより、効率よく基本を理解することに重点をおく(教科書1冊を最大限利用する)。 参考書は本教科以外にも解剖、生理学の参考書としても役に立つ内容が豊富なので、購入することを勧める。ただし、そこからの資料はプリントして配布するし、図書館に原本が配備してあるので利用して下さい。				